

令和 6 年度 第 18 回 倫理委員会 会議記録(概要)

1. 日時及び場所 令和7年2月7日(金)

15:00 ～ 15:30

大会議室

2. 出席者

(委員長) 副院長

(副委員長) 臨床研究部長

(委員) 統括診療部長、小野診療部長、末田医局長、事務部長、看護部長、薬剤部長

(外部委員) 今田委員、宮本委員

欠席： 山崎委員、岩崎委員

3. 審査結果

受付番号 2024-87

研究課題名: 手術室看護師の術後訪問定着に向けた取り組み
～アンケート揭示と術後カンファレンスが行動変容へ与えた効果～

申請者: 独立行政法人国立病院機構病院 東広島医療センター
看護部・看護師 山中 祐二

【審査内容】研究課題の倫理的配慮について審議した。

【審査結果】全員一致で承認した。

受付番号 2024-84

研究課題名: ロボット支援腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

申請者: 独立行政法人国立病院機構病院 東広島医療センター
泌尿器科・部長 望月 英樹(代理 豊田 和広 高難度新規医療技術評価部長)

【審査内容】高難度新規医療技術評価部で「適」評価であった旨を報告

【審査結果】全員一致で承認した。

4. その他報告事項

適応外使用等申請について、豊田 和広 適応外使用等評価部長より報告

今年度適応外使用等評価部で「適」評価であった10症例について当委員会への事後報告があった。

→報告が遅れた理由は何か？

→適応外使用等評価に関して担当者が人事異動で交代し引継ぎが不十分であったことと、
適応外使用等の申請手続きに関して「適応外使用等に係る医療の提供に関する規程」上、
報告対象や手続きにあいまいな点があり報告不要と解釈していたためである。

今後、規程の内容を精査し改正を行う予定としている。

→そもそも倫理委員会に報告が必要な案件か？

→確かに倫理委員会に諮らず使用許可を出している施設もあるが、当院では院長指示により
全例を倫理委員会に報告後、院長許可を発出することとした。

→ 全員一致で報告内容を承認した。

他院一括審査許可案件について

EBM・NHOネットワーク共同研究1件、特定臨床研究4件について報告

→ 全員一致で報告内容を承認した。

以上